



●10校ともご自慢の施設が完備して

本市には小学校7校、中学校3校あり、昭和57年度、7149名が学んでいます。また障害学級は3小・中学校に設けられ、一般の子供たちと一緒に元気に学んでいます。

すべての校舎は騒音を防ぐため防音設備が完備した鉄筋校舎で、広い校庭と講堂、プールがあります。また施設面では小学校の各室にカラーテレビが設置されているほか、児童の理解度を知るための反応分析器等も漸次設置され、また中学校では技術・家庭の実習教育の向上や視聴覚、音楽、英語等のより充実を図るための特別室の整備に力を入れています。

学校施設の整備は今後も市の重要施策の1つで、各学校および、講堂等施設の新増改築、さらに各校の緑化推進に当たっています。

●手づくりのホカホカご飯が人気

学校給食は、市職員23名が作業に当り、早くから米飯をとり入れた手づくり給食を実施しています。児童生徒数の増加に伴い、54年9月には第二給食センターが

新しい教育器機を使ったのしい授業（小学校）

開設し、56年4月には第一給食センターも近代的な施設に建て替えられ、手のこんだ献立を温かいうちにつくって届けることがよりスムーズになりました。



整備された施設でプロたちが調理（第一給食センター）

学校はすべて近代的な防音校舎。質的向上にも



体力づくりに力を入れて、中学生たちのスポーツ活動



自然の中で勉強、小学校の野外教室

●幼稚園も子供たちの大切なふれあいの場

幼稚園は市内に私立が4園あり現在3歳から5歳児まで873名が通園しています。市では幼児教育の普及とその役割の

重要性から、小学教育と連動させながら指導育成に力を入れています。

●地域へ帰っても安全、健康的に——

子供たちの放課後や休日のあり方が各地で問題になっていますが、本市では地域へ帰ってから子供たちが安心して楽しくすごせるよう、地域公民館の利用や図書の出し、体育施設の開放と、児童を対象にした各種教室の充実に力を入れています。

とくに夏休みは、市教育委員会と父兄を主体とした町内ごとの子供行事がいっぱいあり、子供たちにとって楽しい季節です。

しかし昨今の青少年犯罪の増大、なかでも非行化の低学年化が本市でも目立ち始めているため、学校、家庭、地域、各種団体が一体となった児童・青少年の健全育成策が求められています。本市には子供たちの地域のリーダーとして活躍している青少年問題地区委員長が33人いるほか、教育相談や少年相談等も設けています。

力を入れて